

2024年度 札幌音楽家協議会例会

8月14日(火) 13時開講

ザ・ルーテルホール6階大会議室(札幌市中央区大通西6丁目3-1)

ベートーヴェンの作曲の謎に迫る!

福井大学准教授であり当会会員の星谷丈生先生をお迎えして、ベートーヴェンの残した膨大な下書きと若き日の彼の師によって添削されたノートをもとに、作曲家である星谷先生がベートーヴェンの作曲の秘密を紐解いていきます。この夏は、とことんベートーヴェンに浸ってみませんか。

「ベートーヴェンはどのように作曲したのか」星谷丈生

L.v.ベートーヴェンは、膨大な下書き(スケッチ)を残したことで知られています。それらを紐解いていくと、誰もが知っているあの名曲がどのようなプロセスで作曲されたのか類推することができます。本講座では、残されたスケッチを元に「あり得たかもしれない別の案」を作成し、ベートーヴェンの作曲の秘密に迫りたいと思います。また「ソナタ形式」の歴史にも触れ、この言葉が広く普及した経緯についてみなさんと一緒に考えたいと思います。さらにベートーヴェンが若き日の作曲の師に添削されたノートを観察しながら、ベートーヴェンの作品の特徴についても探ります。

星谷丈生(ほしやたけお・作曲家)



東京藝術大学作曲科及び、博士課程音楽領域研究科修了、博士号取得。
作曲を池田悟、近藤譲、佐藤眞の各氏に師事。国内外で多数の作品を発表している。主な活動として2005年はダースフィールド現代音楽祭(イギリス)、2007年サルヴァトーレ・マルティラーノ賞(アメリカ)第1位、2010年武生国際音楽祭招待作曲家、2011年ロワイヨモンセミナー(フランス)参加、2013年テグ国際音楽祭招待作曲家、2014年カフェ・ブダペスト(ハンガリー)参加、2017、2019年、日加現代音楽交流プロジェクト(カナダ)、2020年Music from Japan(アメリカ)参加など。2019年3月に発売したCDアルバム「四季」はレコード芸術誌特選版に選ばれるなど高い評価を得た。現在、福井大学教育学部准教授。アンサンブルニュークラシカ、庭園想楽、Officeでくなどのグループでも活動している。
日本現代音楽協会理事、札幌音楽家協議会会員

※ 8月10日までに下記の例会係まで事前に参加申し込みをさせていただきますようお願い申し上げます。
(例会係:櫻井匡、新井まどか)

入場料/会員・無料 非会員・¥1,000

お問い合わせ: 例会係/ Mail: trumpet.sakurai.1016@gmail.com Tel. 011-591-2602